

このごろ思うこと (V)

中西卓 @ 岡山

卒寿を迎えて半年近くになるが、残り人生をどう生きるか考えることがある。「君たちはどう生きるか」が宮崎駿さんの映画のテーマになって、ずっと前に読んだ吉野源三郎の原著を再読しようかと思うが、コペル君のように素直に受けとめられそうにない。年賀状に書いたことがある“林住期”は“はどうすれば得られるのだろうか。他人様には下らぬのを承知で思うことを並べますがお目通しいただければ幸いです。

① **ニュース 大小：** *5/20 にイランのライシ大統領が悪天候によるヘリの事故で亡くなったのを知った。イスラム圏盟主のトップに降りかかったアクシデントが直接・間接に世界情勢に影響するに違いない。

* 今秋の米大統領選に3人目のケネディ氏が名乗りをあげた。2人の高齢が競い、“もしトラ”が現実になるかもというとき、圏外の三者から見れば歓迎すべきことかもしれない。

* ミャンマー軍事政権が揺らいできた、民主派に合流する少数民族が蜂起し国軍兵士の寝返りもあるという、スーチーさんの出番を待ちたい。

* 裏金論争に明け暮れる我が政界、総裁選で見る派閥争いに辟易する。政策審議なしに閣議決定で重大事を決めてしまう悪弊を野党が傍観していると思えないが。

* 地元の市長・市議選まであと10ヶ月、解散総選挙も予測できない情勢である。政治マニアの私はしばらく退屈しないだろう。

② **役所の建物**について： 建築デザインに興味を持つようになり方々の役所を見て思うことを述べたい。大御所・丹下健三による東京都庁舎に私ごときが言うことは何もないが、概して高層ビルの庁舎に好感が持てない。中之島で日銀支店と向かいあう大阪市庁舎はCITY HALLの風格を持つ、一方大手前のお府庁舎は旧態依然。

岡山県庁舎は桃太郎通りと並行する県庁通りの終端に県立図書館と向かい合って建つ。建物全体が明暗に富んださりげない意匠で正面玄関前に張り出した庇が本体と調和し、プラタナス並木と相俟





って周囲の街並みに溶け込んでいる。かつての小高い丘・天神山から旭川畔に移るとき著名な建築家前川国男が手掛けた建物で、美術館や博物館、後楽園・岡山城などカルチャゾーンの一画にある。

左は倉敷市庁舎で、役所建築としてはユニークでヨーロッパモダン？を感じる。大原美術館などアートの倉敷ならこそである。偏見を承知で言えば、国会議事堂は帝国議会のイメージそのまま、首相官邸は薄っぺらで機能に見合っていないように思うが、皆さんの見方は如何。

- ③ **整骨院の保険扱い**：脳の萎縮を抑えられなくても身体だけは何時までと思って、近くの整骨院に週2回通い始めて1年近くになるが、最近いやがらせの文書が届くのが不快だ。「あなたの整骨院利用は病気でないから、保険が使えませんよ」というのである。整骨院でそのことを話したら『無視してください』と言うが、それを鵜呑みしてよいものか。同年輩の多くがデイサービスなど介護保険の恩恵を受けているのに、自分にはそれがない。骨折などでなくても日常動作を維持するのに保険が適用されないのは納得できない。医師会等の政治的圧力があるのかと疑う。
- ④ **緑陰でお茶を**：ここに住んで30年経つので庭のリフォームを思い立ったのが2年ほど前、ようやく形が見えてきた。水溜りができる所と歩路に砂利を敷き、雑草を剥いで芝を張り、木立の下で仲間とテーブルを囲めるようにしたかった。ホームセンターで買ったツーバイフォー材 180 cmを 120/60 に刻んでテーブルに、キシラデコールを塗って風雨に耐えるつもりだが、人命との長持ち競争だなんて独り合点のつまらぬことを考える昨今です。 （おわり）